

Ⅲ. 研究

9. 邦文誌編集委員会

委員長 平松 昌子

1. 邦文誌（日本外科学会雑誌）について

日本外科学会雑誌は、年間6巻（通常号6巻）を発行している。その編集作業のため邦文誌編集委員会を6カ月に1度開催している。

また、令和5（2023）年3月までに第124巻第2号を会員に配本した。

2. 概要について

・通常号

- 1) 発行は、隔月（奇数月）とする。
- 2) 頁数は、基本的に1号あたり150頁程度とする。
- 3) 配本は、平成29（2017）年の第118巻より希望制を開始している。
- 4) 定価は、1冊あたり990円（税込）とする。

・臨時増刊号

- 1) 「定期学術集会日程号」は、令和2（2020）年より発行を取り止めた。

3. 掲載企画について

前回の雑誌リニューアルから約10年が経ったので、改めて企画のリニューアルを行うことになった。リニューアルの検討に伴い、実際に「日本外科学会雑誌」の各企画がどの程度読まれているか、どのような企画が望まれているかなどを調査するため、アンケート調査を行った。その結果はホームページで公開する。

なお、アンケート結果を参考にし、令和6（2024）年に発行の第125巻第1号からのリニューアルに向けた企画内容を検討している。

・依頼原稿

- 1) Editorial（編集委員による）
- 2) 会員へのメッセージ（各委員会の委員長から会員へ、委員会の現状や課題をテーマとした企画）
- 3) 先達に聞く（名誉会長や名誉会頭、名誉会員、特別会員、各編集委員・幹事の恩師などからの若手外科医に対する助言や過去の経験談をテーマとした企画）
- 4) 理想の男女共同参画を目指して（男女共同参画委員会と連携して、労働環境、キャリアパスなどの女性医師関連をテーマとした企画）
- 5) 若手外科医の声（概ね40歳以下の若手会員からの自由な内容をテーマとした企画）
- 6) 特集（編集委員による、主に各専門領域をテーマとした企画）
- 7) 会員のための企画（編集幹事による、会員に役立つような内容をテーマとした企画）
- 8) 医療訴訟事例から学ぶ（弁護士の立場から過去の医療訴訟事例を解説した企画）
- 9) 手術のtips and pitfalls（編集幹事による、図を中心とした手術の工夫やコツをテーマとした企画）
- 10) 講演の記録（定期学術集会「特別企画」の記録を掲載する企画）

11) 特別寄稿（編集委員・幹事による臨時の企画）

・一般投稿論文

- 1) 論文種別は、『会員からの寄稿』のみとする。
- 2) 投稿規定は、字数 4,000 字以内、図表点数 4 点以内（1 点 400 字換算、字数に含む）とする。

・その他

- 1) 集談会記事（抄録は除く）を無料で受け付けている。
- 2) 理事会ニュース等の会告は、本会ホームページでの公開に一本化している。なお、必要と認められた会告については随時掲載することとしている。

4. 執筆料（謝金）、掲載料について

財務委員会と検討し、平成 30（2018）年度より以下のとおりとしている。（全て税込）

・執筆料（謝金）

- 1) 会員は無料、非会員は 30,000 円。

・掲載料

- 1) 一般投稿論文は、33,000 円（4 頁以内）、超過分は 1 頁毎に 16,500 円。
（カラー掲載を希望する場合は別途、実費を徴収する。1 頁あたり、約 52,800 円）
- 2) 有料会告（会告・学会案内・地方会案内など）は、22,000 円。

5. その他について

・配本希望制

- 1) 配本、送料にあたっての会費以外の料金徴収はしない。
- 2) 配本を希望しない場合でも、会員は Online Journal より閲覧が可能である。
- 3) 配本希望の申し出を受けた場合は、改めて配本中止の申し出があるまで、継続して配本する。
- 4) 途中で配本中止の申し出を受けた場合は、原則として翌年発行の巻から配本中止とする（当該年の第 6 号までは配本する）。
- 5) 配本を希望しなかった場合も、改めて配本希望の申し出があれば、その翌年発行の巻から配本する。

・「医療訴訟事例から学ぶ」の書籍販売

第 104 巻第 6 号（平成 15/2003 年発行）から第 116 巻第 6 号（平成 27/2015 年発行）までに掲載した 87 事例から 47 事例を抜粋し、平成 28（2016）年 4 月から書籍（電子書籍を含む）として販売している。

なお、販売は全て出版社である株式会社杏林舎に委託している。

・転載許諾

- 1) 審査については、委員会にて定めた以下の規定に従い、原則委員長判断により許諾を判断する。規定外の申請については委員会にて審議し、決定する。

①転載先が下記のいずれかであること。

- ・学術・教育活動（論文，学会発表，業績集等を含む）
- ・医療関連企業等の印刷物・ウェブサイト等
- ・出版社等の印刷物・ウェブサイト等
- ・その他（委員会で認められたもの）

②転載点数が，1論文あたり原則として3点以内であること。

③修正がないこと。（原則的に図表を含めて修正は認めていない。）

④「日本外科学会雑誌第○巻第○号（○年）より転載」の一文が明記されていること。

その他の事項は，STM 出版ガイドラインに準ずる。

2) 転載料については，徴収することとし，転載料は以下のとおりとする。

種 別	転載料
1) 学術・教育活動（論文，学会発表，業績集等を含む）	無料
2) 医療関連企業等の印刷物・ウェブサイト等	55,000 円（媒体ごとに徴収）
3) 出版社等の印刷物・ウェブサイト等	55,000 円（媒体ごとに徴収）
4) その他（委員会で認められたもの）	原則，55,000 円

※税込とする。

※出版物で 5,000 部を超過する場合は，1,000 部追加ごとに 5,500 円（税込）徴収する（2022 年 9 月 12 日より）。

ただし，ウェブサイトについては閲覧数等を問わないこととする。

・ Online Journal

令和 2（2020）年度より，論文以外の有料会告・集談会記事等（企業広告，外科専門医試験問題解説を除く）も公開している。

なお，第 121 巻より会員，非会員問わず閲覧できるようにしている。ただし，最新巻は会員のみ閲覧できることとする。

・過去の日本外科学会雑誌の Online Journal 化

会員の学術的な利便性を高めるため，日本外科学会雑誌の印刷業等の委託業者である大村印刷株式会社と協力しながら，過去の第 1 巻（明治 33/1900 年）から第 105 巻（平成 16/2004 年）までも閲覧できるよう準備を進めている。なお，過去の論文は個人情報が入っているものがあるため，Online Journal のセキュリティを強化，検索機能の強化を行い，準備が整い次第順次遡って公開していく予定である。

・複写権委託

一般社団法人学術著作権協会には，冊子版，ならびに電子版の複写権を管理委託している。

・出版物の寄贈

国立国会図書館に，冊子版のみ納入している。

・年間購読料

臨時増刊号「定期学術集会日程号」の発行取り止めに伴い，令和 2（2020）年の年間購読料（全 6 冊）から 5,720 円（税込）に引き下げた。

10. 英文誌編集委員会

委員長 長谷川 潔

1. 英文誌 (Surgery Today) について

本誌は、年間12冊、電子ジャーナルを含めて約40,000部を発行している。令和4(2022)年中に823編の投稿があった。同年発行の第52巻には220編が掲載され、令和4(2022)年の採用率は20.6%であった。

平成23(2011)年11月よりOnline Firstでの出版を開始している。Online Firstの出版により号の出版を待たずに論文ごとの電子版の出版が可能となり、入稿から掲載までの期間は約1ヶ月となっている。Online Firstに掲載された論文は、電子版出版は正式な出版と認められておりDOI(Digital Object Identifier)のコードにより、頁なしでも引用可能である。令和4(2022)年のOnline Firstの出版による論文数は、Original:162編、How To Do It:8編、Review Article:17編、Short Communication:2編、Others:20編となっている。

2. Surgery Today Table of Contents について

平成28(2016)年2月よりSpringerへ会員のメールアドレスを提供しており、オプト・アウト方式で会員各位に毎月配信を行っている。

3. Impact Factor について

令和3(2021)年のImpact Factor(IF)は、自己引用率も8.7%にもかかわらず、2,540となった。

4. 優秀論文賞 (Best Surgery Today Award) について

令和3(2021)年度から研究奨励賞の名称を「Surgery Today 優秀論文賞 (Best Surgery Today Award)」とし、分野も一般・小児、消化管、呼吸器、乳腺・甲状腺、心臓血管、肝胆膵・移植の6分野として、授賞者を決定した。

①一般・小児

矢本 真也 (静岡県立こども病院小児外科)

Optimal timing of surgery in infants with prenatally diagnosed isolated left-sided congenital diaphragmatic hernia : a multicenter, cohort study in Japan 51 : 880-890

②消化管

佐々木 健 (鹿児島大学大学院消化器・乳腺甲状腺外科学)

Comparison of greater curvature and lesser curvature circular-stapled esophagogastrostomy after esophagectomy in patients with esophageal cancer : a prospective randomized controlled trial 51 : 575-581

③呼吸器

椎谷 洋彦 (東京大学医学部附属病院呼吸器外科)

Outcomes of lung transplantation for idiopathic pleuroparenchymal fibroelastosis 51 : 1276-1284

④乳腺・甲状腺

柴田 雅央 (名古屋大学医学部附属病院乳腺・内分泌外科)

Identifying the tumor-progressive gene expression profile in high-risk papillary thyroid cancer 51 :

1703-1712

⑤心臓血管

折居 衛 (名古屋第一赤十字病院心臓血管外科)

Use of a cutting stapler to excise a left atrial appendage in minimally invasive cardiac surgery 51 : 520-525

⑥肝胆膵・移植

伊関 雅裕 (東北大学病院肝胆膵外科)

The evaluation of the safety and efficacy of intravenously administered allogeneic multilineage-differentiating stress-enduring cells in a swine hepatectomy model 51 : 634-650

5. Citation Award について

令和 4 (2022) 年の Citation Award を 7 名に授賞した。

①渡邊 雅之 (がん研有明病院)

Recent progress in multidisciplinary treatment for patients with esophageal cancer 50: 12-20

②徳永 正則 (東京医科歯科大学消化管外科学分野)

Perioperative chemotherapy for locally advanced gastric cancer in Japan : current and future perspectives 50: 30-37

③渡邊 学 (東邦大学医療センター大橋病院外科)

The COVID-19 Pandemic in Japan 50: 787-793

④幕内 梨恵 (がん研有明病院 (当時: 静岡がんセンター))

Esophagojejunal anastomotic leakage following gastrectomy for gastric cancer 49: 187-196

⑤尾原 秀明 (慶應義塾大学外科)

Current management strategies for visceral artery aneurysms : an overview 50: 38-49

⑥柴崎 晋 (藤田医科大学)

Should robotic gastrectomy become a standard surgical treatment option for gastric cancer? 50: 955-965

⑦武野 慎祐 (宮崎大学医学部)

Aortooesophageal fistula : review of trends in the last decade 50: 1551-1559

6. Best Reviewer Award について

選出方法は Completed 数の上位 5 名で、授賞後 5 年間は再授賞できないルールに従って、第 6 回 Best Reviewer Award を 6 名に授賞した (同数が複数名いたため)。

①梅邑 晃 (岩手医科大学消化器外科)

②稲木 紀幸 (金沢大学医薬保健研究域医学系消化管外科学/乳腺外科学)

③有上 貴明 (鹿児島大学がん病態外科学)

④仲田 興平 (九州大学臨床腫瘍・外科)

⑤岡林 剛史 (慶應義塾大学医学部一般消化器外科)

⑥山口 正史 (北九州市立医療センター呼吸器外科)

7. 契約について

出版委託業者の Springer Nature 社との現在の契約は、令和 5 (2023) 年 12 月末までなので、令和 8

(2026)年12月末まで延長した上で、その間に競合他社との相見積などによって選定作業を行うこととした。

8. その他

IF向上の一環としてSurgery Today Vol. 50-52の論文リストを引用して頂くよう分野別リストを作成して編集委員に配布した。

掲載原稿種別表

年次	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99
巻数	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
投稿数	102	142	164	131	151	179	197	208	275	268	322	339	419	443	429	436
掲載数	89	83	78	87	119	116	119	130	107	208	222	211	212	245	281	271
採用率 (%)	87.3	58.5	46.3	66.4	78.8	64.8	60.4	57.7	38.9	76.9	68.9	62.2	50.5	55.3	65.5	61.9
Editorial	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	9	1
Review	4	12	4	6	5	7	6	1	7	1	5	5	3	2	1	1
Original	77	50	44	47	71	59	67	67	59	107	106	101	82	120	102	100
Case Report	0	12	19	25	33	44	38	47	37	89	93	88	99	97	152	145
Short Communication	5	7	9	6	6	2	7	5	3	7	8	5	9	9	6	9
How to do it	3	1	0	3	4	1	1	0	1	2	10	12	7	10	11	14
Others	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	12	0	0	1
Impact Factor							0.21	0.228	0.188	0.163	0.118	0.171	0.209	0.233	0.303	0.379

年次	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
巻数	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
投稿数	424	509	607	687	623	666	926	948	1099	1232	1165	1245	1525	1408	1059	728	709	658	800	796	1123	880	823
掲載数	289	247	243	214	238	216	231	235	231	220	217	314	226	256	381	244	195	198	145	179	206	242	209
採用率 (%)	68.4	48.5	40.0	32.1	43.9	38.2	24.9	24.7	21.0	17.8	18.6	25.2	14.8	18.2	35.9	25.0	21.8	21.2	17.4	23.2	25.5	23.9	20.6
Editorial	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Review	4	2	3	0	8	13	5	10	11	19	37	30	13	24	36	32	29	20	13	45	43	28	17
Original	97	86	88	76	102	102	102	75	85	74	76	108	93	130	215	136	158	167	115	119	140	186	182
Case Report	129	142	146	134	113	91	109	137	120	106	91	161	102	74	108	83	0	0	0	0	0	0	0
Short Communication	2	6	2	2	2	1	1	2	6	4	2	5	3	5	3	1	0	2	3	2	7	3	2
How to do it	7	11	4	2	13	8	10	10	5	15	7	9	13	14	8	10	8	8	8	12	12	17	8
Others	0	0	0	0	0	1	4	1	3	2	2	0	2	7	11	2	0	1	6	3	12	8	20
Impact Factor	0.356	0.480	0.501	0.528	0.553	0.478	0.698	0.679	0.804	1.050	1.057	1.224	0.963	1.206	1.526	1.329	1.745	2.501	2.077	1.878	2.549	2.540	

投稿数内訳																							
Original	149	166	196	222	174	146	232	264	297	366	387	416	542	524	478	540	560	524	644	588	834	714	639
Others	275	343	411	446	449	420	671	683	807	873	809	837	983	884	581	188	149	134	166	208	289	166	184

Surgery Today

ScholarOne Manuscripts™ 論文投稿・審査状況報告

2022年12月31日現在

1. 論文種類別 投稿数 (投稿日による集計)

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
Case Report	753	409	2							
Clinical Original	465	423	485	511	474	579	533	758	648	586
Experimental Original	56	56	65	51	48	66	55	76	66	53
How To Do It	38	48	50	55	49	52	63	98	60	60
Invited Review Article	8	11	8	12	5	9	13	9	2	2
Letter to the Editor	9	13	4	9	15	7	9	12	6	17
Other	3	19	12							
Review Article	47	50	62	45	39	54	74	107	74	75
Short Communication	15	30	49	27	26	34	22	63	24	30
総計	1394	1059	737	710	656	801	769	1123	880	823
月平均	116	88	61	59	55	67	66	94	73	69

※ 取り下げられた論文 (Withdrawn) は含まない

2. 論文種類別 判定結果と採択率 (最終判定日による集計)

	2020			2021			2022		
	Accept	Reject	採択率	Accept	Reject	採択率	Accept	Reject	採択率
Case Report									
Clinical Original	189	537	26.0%	172	496	25.7%	127	464	21.5%
Experimental Original	17	55	23.6%	16	51	23.9%	10	48	17.2%
How To Do It	16	80	16.7%	10	48	17.2%	6	53	10.2%
Invited Review Article	9		100.0%	2	1	66.7%	2		100.0%
Letter to the Editor	7	7	50.0%	4	2	66.7%	11	6	64.7%
Review Article	31	70	30.7%	20	56	26.3%	11	65	14.5%
Short Communication	7	56	11.1%	3	23	11.5%	4	23	14.8%
総計	276	805	25.5%	227	677	25.1%	171	659	20.6%

3. 地域別 投稿数（投稿日による集計）

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
Africa	9	11	16	14	8	12	12	21	14	12
Americas	43	42	21	22	15	19	8	36	27	19
Asia	483	402	207	206	170	266	260	407	309	356
Europe	259	172	136	104	112	125	122	149	98	71
Japan	596	430	355	363	350	378	344	505	429	364
Oceania	4	2	2	1	1	1	3	5	3	1
総計	1394	1059	737	710	656	801	769	1123	880	823

4. 地域別 判定結果（最終判定日による集計）

	2020			2021			2022		
	Accept	Reject	採択率	Accept	Reject	採択率	Accept	Reject	採択率
Africa		21	0.0%	2	12	14.3%		12	0.0%
Americas	8	26	23.5%	1	29	3.3%	2	16	11.1%
Asia	37	358	9.4%	29	289	9.1%	23	337	6.4%
Europe	14	136	9.3%	5	90	5.3%	10	64	13.5%
Japan	216	260	45.4%	190	254	42.8%	136	229	37.3%
Oceania	1	4	20.0%		3	0.0%		1	0.0%
総計	276	805	25.5%	227	677	25.1%	171	659	20.6%

5. カテゴリー別 判定結果（最終判定日による集計）

	2020			2021			2022		
	Accept	Reject	採択率	Accept	Reject	採択率	Accept	Reject	採択率
Adrenal gland					2	0.0%		1	0.0%
Clinical Original					2	0.0%		1	0.0%
Experimental Original									
Anus	1	3	25.0%	1	11	8.3%	1	2	33.3%
Clinical Original	1	3	25.0%	1	11	8.3%	1	1	50.0%
Experimental Original								1	0.0%
Bile ducts/Gall bladder	7	17	29.2 %	8	31	20.5%	5	26	16.1%
Clinical Original	7	15	31.8%	8	28	22.2%	5	24	17.2%
Experimental Original		2	0.0%		3	0.0%		2	0.0%
Breast	5	12	29.4%	3	23	11.5%	3	19	13.6%
Clinical Original	5	11	31.3 %	3	22	12.0%	3	19	13.6%
Experimental Original		1	0.0 %		1	0.0%			
Cardiovascular	8	17	32.0%	13	17	43.3%	6	24	20.0%
Clinical Original	6	13	31.6%	13	16	44.8%	5	21	19.2%
Experimental Original	2	4	33.3%		1	0.0%	1	3	25.0%
Colon/Rectum	43	68	38.7%	43	109	28.3%	33	102	24.4%
Clinical Original	41	65	38.7%	38	104	26.8%	32	92	25.8%
Experimental Original	2	3	40.0%	5	5	50.0%	1	10	9.1%
Esophagus	12	11	52.2%	8	12	40.0%	9	20	31.0%
Clinical Original	11	10	52.4%	8	12	40.0%	8	20	28.6%
Experimental Original	1	1	50.0%				1		100.0%
Liver	13	35	27.1%	15	47	24.2%	5	35	12.5%
Clinical Original	11	32	25.6%	13	41	24.1%	4	33	10.8%
Experimental Original	2	3	40.0%	2	6	25.0%	1	2	33.3%
Lung/Mediastinum	27	53	33.8%	24	65	27.0%	17	51	25.0%
Clinical Original	25	53	32.1 %	22	58	27.5%	17	47	26.6%
Experimental Original	2		100.0%	2	7	22.2%		4	0.0%

	2020			2021			2022		
	Accept	Reject	採択率	Accept	Reject	採択率	Accept	Reject	採択率
Others	26	77	25.2%	19	79	19.4%	14	69	16.9%
Clinical Original	21	58	26.6 %	17	66	20.5%	10	56	15.2%
Experimental Original	5	19	20.8%	2	13	13.3%	4	13	23.5%
Pancreas	20	17	54.1%	16	32	33.3%	4	31	11.4%
Clinical Original	19	16	54.3%	14	27	34.1%	4	29	12.1%
Experimental Original	1	1	50.0%	2	5	28.6%		2	0.0%
Pediatric surgery	7	15	31.8%	10	13	43.5%	5	23	17.9%
Clinical Original	6	13	31.6%	10	12	45.5%	5	21	19.2%
Experimental Original	1	2	33.3%		1	0.0%		2	0.0%
Plastic surgery	1	13	7.1%	1	13	7.1%		14	0.0%
Clinical Original	1	11	8.3%	1	11	8.3%		12	0.0%
Experimental Original		2	0.0%		2	0.0%		2	0.0%
Portal hypertension		1	0.0%		2	0.0%		3	0.0%
Clinical Original		1	0.0%		2	0.0%		3	0.0%
Experimental Original									
Stomach/Duodenum	34	41	45.3%	26	64	28.9%	25	60	29.4%
Clinical Original	33	39	45.8%	24	60	28.6%	24	56	30.0%
Experimental Original	1	2	33.3%	2	4	33.3%	1	4	20.0%
Thyroid/Head and neck	2	15	11.8%	1	9	10.0%	8	15	34.8%
Clinical Original	2	14	12.5%		8	0.0%	7	14	33.3%
Experimental Original		1	0.0%	1	1	50.0%	1	1	50.0%
Vascular		13	0.0%		13	0.0%	2	13	13.3%
Clinical Original		11	0.0%		11	0.0%	2	11	15.4%
Experimental Original		2	0.0%		2	0.0%		2	0.0%

以上

Surgery Today Impact Factor 2021

Impact Factor (2021)	2.540
2年前(2019年)に出版された論文の被引用回数	401
1年前(2020年)に出版された論文の被引用回数	691
2年前(2019年)の出版論文数	131
1年前(2020年)の出版論文数	299
Surgery 分野における順位	102/211
自己引用率	8.7%

過去5年間の推移

	2016	2017	2018	2019	2020
Impact Factor	1.745	2.501	2.077	1.878	2.549
2年前に出版された論文の被引用回数	667	446	473	385	364
1年前に出版された論文の被引用回数	392	622	314	229	319
2年前の出版論文数	368	239	188	191	136
1年前の出版論文数	239	188	191	136	132
Surgery 分野における順位	98/196	62/200	87/203	108/210	100/211
自己引用率	25.4%	31.1%	11.6%	5%	7%

11. Case Report 誌編集委員会

委員長 碓 氷 章 彦

1. 投稿状況について

Surgical Case Reports は、平成 27 (2015) 年 1 月 17 日に創刊し、8 年目に入った。

令和 2 (2020) 年 8 月 17 日より、掲載料 (Article Publishing Charge) を著者負担分 230 ユーロから 460 ユーロ (日本円約 60,000 円) へと変更した。論文の投稿状況は、令和 3 (2021) 年 669 編となり、著者負担分を増額しても、影響を受けておらず、特にこの 2 年間は、今までの 400 編台から 600 編台となっており、増加の傾向をたどっている。

2. 契約本数について

年間の契約掲載数は、著者負担を 460 ユーロ (日本円約 60,000 円) に変更した結果、250 編程度が可能となった。

3. 令和 4 (2022) 年優秀論文賞 (Best Surgical Case Reports Award) について

例年の如く選定条件を Citation 数 (1 回~6 回まで) かつ Download 数 (600 回以上) として、2 つの条件を充足した論文を抽出したところ、論文数が絞り切れなかったため、審査上の負担を考慮して 2020 年は Citation が 4 回以上、2021 年は Citation が 2 回以上として絞り込んだところ物理的に審査可能な論文数となったことから、今回からそのように選定条件を変更して審査中である。なお、審査対象論文が多くなる場合には、さらに上位 50 編までを対象論文とすることにした。

4. Best Reviewer Award 選定について

Surgery Today と同様に、授賞後 5 年間は再授賞できないルールに従い、第 5 回 Best Reviewer Award を 5 名に授賞した。

- ①武野 慎祐 (宮崎大学医学部外科学講座)
- ②杉町 圭史 (国立病院機構九州がんセンター肝胆膵外科)
- ③宗方 幸二 (大阪大学医学部附属病院)
- ④林田 和之 (熊本赤十字病院)
- ⑤柴田 智隆 (大分大学医学部附属病院)

5. IF について

Clarivate Analytics 社の方針変更により、Web of Science の収載 journal の中でも、これまでも「Science Citation Index Expanded (SCIE)」というインデックスに登録された journal のみを IF 公表の対象としていたが、今後は「Emerging Source Citation Index (ESCI)」登録の journal も IF 付与の対象となることとなった。このことから、ESCI に登録されている Surgical Case Reports も 2023 年から IF が付与されることとなった。Springer Nature 社が予測で算出している IF は、0.6~0.7 くらいである。

6. 契約について

出版委託業者の Springer Nature 社との契約は、令和 6 (2024) 年 12 月末までなので、競合他社との相

見積をもって客観的に評価しながら業者選考を行う予定である。

7. ジャーナルについて

ジャーナルタイトル：Surgical Case Reports <http://www.surgicalcasereports.com/>

出版形式：オンラインジャーナル，オープンアクセス出版

出版頻度：年1巻（採用順にオンライン出版）

掲載内容：Case Report, Letter to the Editor

出版開始：2015年1月17日

出版費用：Article Publishing Charge (APC)

定価（一般，非会員向け）£980/\$1,535/€1,250

会員向け割引価格£360/\$565/€460（2023年1月1日に€460に対する£，\$レート改訂予定）

（日本在住者には米ドル建て価格での請求，別途消費税が加算されます。）

電子投稿査読システム Editorial Manager

（<https://www.editorialmanager.com/sucr/default1.aspx>）より投稿

投稿に関する詳細については Submission Guidelines（投稿規定）

<https://surgicalcasereports.springeropen.com/submission-guidelines> を参照

Surgical Case Reports
論文投稿・審査状況報告

2023年1月15日更新

1. 論文種類別 投稿数 (投稿日による集計)

Article Type	2014 Total	2015 Total	2016 Total	2017 Total	2018 Total	2019 Total	2020 Total	2021 Total	2022 YTD*
Case Report	118	479	400	421	407	442	689	667	577
Letter to the Editor	0	3	0	0	1	4	0	2	0
Editorial	2	0	0	0	0	0	2	0	4
Total	132	504	413	421	408	446	691	669	581

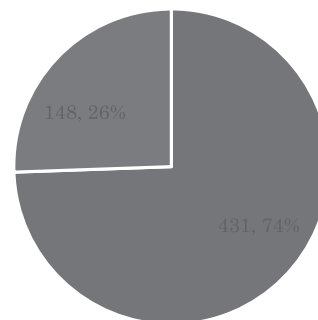
月別投稿数

Month	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	Total
2021	64	72	77	62	51	58	60	44	44	37	48	52	669
2022	52	52	60	58	48	44	44	54	42	39	42	46	581

2. 国別 投稿数 (投稿日による集計)

Corresponding Author's Country	2022
JAPAN	431
USA	17
CHINA	15
IRAN	12
INDIA	8
SAUDI ARABIA	7
AUSTRALIA	6
SYRIA	6
GERMANY	5
GREECE	5
BELGIUM	4
CANADA	4
FRANCE	4
SUDAN	4
BRAZIL	3
EGYPT	3
MALAYSIA	3
UK	3
12 countries submitting 12	24
15 countries submitting 1	15
	579

2022 Submission -Japan vs Overseas



2022年に投稿を受け付けた国、地域数：45 (2021年は50)

3. 論文種類別 判定結果と採択率 (最終判定日による集計)

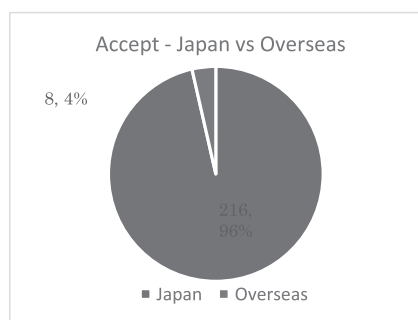
Year	Article Type	Case Report	Letter to the Editor	Editorial	Total
2015	Accept	114	1	0	115
	Reject	349(237)	2(1)	0	351
	Accept Rate	24.60%(50.4%)	33.30%	NA	24.70%
2016	Accept	156	0	0	156
	Reject	243(147)	0	0	243
	Accept Rate	39.10%(61.9%)	NA	NA	39.10%
2017	Accept	128	0	0	128
	Reject	290(234)	0	0	290
	Accept Rate	30.60%(69.60%)	NA	NA	30.60%
2018	Accept	144	1	0	145

	Reject	174 (69)	0	0	174
	Accept Rate	45.5%(59.2%)	NA	NA	45.5%
2019	Accept	221	1	0	222
	Reject	203	2	0	205
	Accept Rate	52.1%	33%	NA	51.9%
2020	Accept	315	2	0	317
	Reject	301	0	0	301
	Accept Rate	51.1%	100%	NA	51.1%
2021	Accept	248	0	0	248
	Reject	365	1	0	366
	Accept Rate	40.4%	0%	NA	40.4%
2022	Accept	223	1	0	224
	Reject	314	3	0	317
	Accept Rate	41.53%	25%	NA	41.40%

4. 国別採択数（最終判定日による集計）

Author's Country	2022
JAPAN	216
GERMANY	2
EGYPT	1
IRAN	1
NORWAY	1
SWITZERLAND	1
UNITED KINGDOM	1
USA	1
	224

2022年に採択された論文の投稿があった国、地域数：8(2021年は11)



5. 国内・外 判定結果と採択率（最終判定日による集計）

		JAPAN	Overseas	Total
2015	Accept	105	10	115
	Reject	139	212	351
	%Accept	43.0%	4.50%	24.70%
2016	Accept	146	10	156
	Reject	196	47	243
	%Accept	42.7%	17.50%	39.10%
2017	Accept	126	2	128
	Reject	254	36	290
	%Accept	33.2%	5.30%	30.60%
2018	Accept	139	6	145
	Reject	146	28	174
	%Accept	48%	17.64%	45.45%
2019	Accept	209	13	222
	Reject	159	46	205
	%Accept	56%	22%	51.9%
2020	Accept	300	17	317
	Reject	251	50	301
	%Accept	54.4%	25.3%	51.3%
2021	Accept	231	17	248
	Reject	265	101	366
	%Accept	46.6%	14.4%	40.4%
2022	Accept	216	8	224
	Reject	204	107	317

	%Accept	51.4%	6.9%	41.4%
--	----------------	-------	------	--------------

6. 審査日数（最終判定日による集計）

項目	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
投稿～Accept までの平均日数	105.0 days	92.4 days	89.7 days	90.65days	85.9 days	75 days	75 days	80 days
投稿～Reject までの平均日数	17.8 days	21.6 days	9.8 days	17.62days	25.2days	32days	31days	28 days

各 editorial stage での平均所要日数(全論文対象)

項目	From submission to 1 st decision	From 1 st to final decision	From submission to final decision
2017	16.3 days	17.86 days	35.23 days
2018	28.79 days	23.66 days	52.15 days
2019	29.55 days	26.56 days	55.64 days
2020	28.30 days	26.0 days	54.31 days
2021	29.03 days	20.09 days	49.12 days
2022	33.70 days	21.28 days	54.98 days

7. カテゴリー別 投稿数（投稿日による集計）

Classification	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
Adrenal gland	1	8	4		1	2	2	9	4
Anus	3	5	4	5		6	6	5	10
Bile ducts/Gall bladder	3	34	20	23	27	18	28	33	21
Breast	3	22	8	19	14	9	20	15	22
Cardiovascular	4	28	32	26	25	34	40	55	42
Colon/Rectum	23	71	45	48	50	38	66	63	67
Emergency	19	92	46	43	37	27	63	68	62
Esophagus	4	18	9	16	9	15	25	21	23
Genetics			2	2	3	5	3	5	1
Liver	5	26	23	42	21	30	34	42	34
Lung/Mediastinum	12	38	34	39	26	18	39	67	46
Medical Oncology		1	21	17	18	26	21	33	20
Pancreas	4	17	16	41	19	29	31	34	39
Pathology		6	29	26	14	24	27	36	19
Pediatric surgery	6	18	12	24	10	17	20	30	30
Plastic surgery	7	20	9	5	7	9	16	13	12
Portal hypertension		3	3		1	1	4	2	1
Radiation Therapy			4	2	6	2	7	3	2
Stomach/Duodenum	9	55	32	34	33	44	45	43	48
Thyroid	4	20	8	4	8	6	13	14	11
Vascular (peripheral/vein)	9	24	18	19	15	14	23	36	24
Grand Total	116	506	379	435	344	374	533	627	541

※1 論文で複数のカテゴリーを選んでいる場合は全てのカテゴリーをカウント

カテゴリー別 採択数（判定日による集計）

Category	2018		2019		2020		2021		2022 YTD*	
	採択数	採択率	採択数	採択率	採択数	採択率	採択数	採択率	採択数	採択率
Adrenal gland		0%	1	50%		0%		0%	2	40.0%
Anus	2	67%	1	14%	4	33%	5	50%	6	50.0%

Bile ducts/Gall bladder	4	11%	22	55%	23	34%	16	35%	21	48.8%
Breast	9	33%	7	47%	19	31%	13	43%	13	44.8%
Cardiovascular	12	30%	19	38%	13	19%	18	27%	15	24.6%
Colon/Rectum	32	38%	41	53%	64	34%	51	46%	28	30.4%
Emergency	19	30%	34	56%	38	28%	41	41%	37	41.1%
Esophagus	14	50%	19	56%	30	37%	13	38%	15	42.9%
Genetics	2	40%	1	17%		0%	4	44%	2	66.7%
Liver	25	54%	28	46%	48	38%	37	46%	32	52.5%
Lung/Mediastinum	21	36%	40	75%	35	32%	37	40%	32	41.6%
Medical Oncology	11	37%	14	34%	26	36%	19	36%	15	37.5%
Pancreas	12	34%	23	48%	37	35%	28	45%	34	53.1%
Pathology	23	61%	16	42%	30	37%	24	41%	15	44.1%
Pediatric surgery	5	29%	14	45%	19	35%	17	43%	22	44.9%
Plastic surgery	5	38%	3	25%	3	15%	2	15%	1	7.7%
Portal hypertension	1	50%	1	100%	4	33%	1	33%	3	75.0%
Radiation Therapy	2	25%	2	50%	1	14%	5	71%	3	50.0%
Stomach/Duodenum	14	28%	33	42%	54	36%	38	47%	40	52.6%
Thyroid/Head and neck	3	27%	3	30%	6	27%	6	38%	6	35.3%
Vascular (peripheral/vein)	5	23%	16	50%	11	24%	11	24%	7	24.1%

※1 論文で複数のカテゴリーを選んでいる場合は全てのカテゴリーをカウント

12. 臨床研究推進委員会

委員長 宇山 一朗

令和4年度は、第1回委員会を令和4年8月に、第2回を令和5年1月に開催し、臨床研究助成の選考や臨床研究セミナーの検討を行った。

1. 「日本外科学会臨床研究助成」及び「若手外科医のための臨床研究助成」の授賞者について

令和4年度も「日本外科学会臨床研究助成」(500万円×1件)と「若手外科医のための臨床研究助成」(100万円×5件)の募集を行い、審査した。

【日本外科学会臨床研究助成】(JSS Clinical Investigation Project Award) 授賞者 1名

4件の研究課題の申請があり、委員全員で以下の1題採択した。

・長谷川 潔(東京大学肝胆膵外科)

「切除可能大腸癌肝転移に対する有効な集学的治療法の開発」

【若手外科医のための臨床研究助成】(JSS Young Researcher Award) 授賞者 5名

40件の研究課題の申請があり、申請者が申請された分野に基づき、分野毎の委員に依頼し、複数の分野に跨る課題の場合は、該当するすべての分野の委員に依頼し、1次審査を行った。その後、各課題の平均点数を算出した上で、最終選考を行い、以下の5課題を選定し、委員全員で5題採択(最終審査)した(分野毎の諾否ではないため、授賞は選択分野に影響されない旨記載している)。

(五十音順)

・高森 信吉(九州大学消化器・総合外科)

「切除可能非小細胞肺癌患者におけるマイオカインの生物学的意義の解明」

・谷合 智彦(東京慈恵会医科大学外科学講座肝胆膵外科)

「癌免疫微小環境を標的とした高悪性度肝細胞癌に対する革新的治療の開発」

・得居 龍(大阪大学乳腺・内分泌外科)

「再生医療技術を用いた新しい乳房再建に関する前臨床研究」

・広藤 愛菜(旭川医科大学外科学講座心臓大血管外科)

「Mycによる心筋細胞分裂誘導メカニズムの解明と心筋再生治療の基盤構築」

・山田眞一郎(徳島大学消化器・移植外科)

「Nrf2を基軸とした癌微小環境クロストークによる肝細胞癌レンバチニブ耐性機序の解明に関する研究」

【募集要項の見直し】

研究不正事例に伴う調査委員会からの申し送り事項などを受けて、令和4年度から両助成の募集要項を見直し、助成対象期間後に研究結果報告書の他に収支決算報告書の提出も義務付けると共に、その提出がなかった場合などの注意事項を明記した。

また、同じく調査委員会からの申し送り事項を受けて、当該会員から本委員会に顛末書を提出いただき、理事会上で報告の上で、受理した。

2. 令和4年度臨床研究助成「日本外科学会臨床研究助成」、及び「若手外科医のための臨床研究助成」の授賞式について

令和4年度「日本外科学会臨床研究助成」、及び「若手外科医のための臨床研究助成」の授賞者の授賞式は、第123回定期学術集会の3日目にあたる令和5年4月29日（土）に執り行う。

なお、この授賞式のセッションには、これまでの臨床研究助成授賞者の成果発表も組み込んでいる。

3. 臨床研究セミナー（eラーニング）について

従来の参集形式から、eラーニング形式に切り替わったことに伴い、毎年のように企画を立てる必要はなくなったことから、「観察研究の統計」と「臨床試験の統計」のテーマをセットにしたコンテンツを、5年に1回の頻度で制作して、差し替えることとした。

なお、令和5年度のeラーニングで配信する臨床研究セミナーは、臨床統計顧問の大庭幸治委員（東京大学；タイトル「臨床試験を読み解くための生物統計」）と、室谷健太委員（久留米大学；タイトル「観察研究における統計解析」）に担当してもらうこととした。

【令和5年度配信】

- ・「臨床試験を読み解くための生物統計」
大庭 幸治（東京大学生物統計学分野）
- ・「観察研究における統計解析」
室谷 健太（久留米大学バイオ統計センター）

4. NCD データを利用した複数領域にまたがる臨床研究について

NCD データを利用した臨床研究は、当該学会が所管するデータ以外の領域にまたがる研究を行おうとする場合には、個別に該当する学会の承諾を得た上で、主たる学会からNCDに申請する必要がある、手続きに煩雑な点がある。そこで、複数領域にまたがるNCD データの利用につきまして、円滑な協議に資するため、学会間の交渉機関として、「NCD 臨床研究推進委員会」（各領域の学会とNCDの代表者が加わった拡大的な組織）が設置されている。

令和4年度も募集したところ、本会より「特発性食道穿孔に対する開胸アプローチと開腹アプローチにおける比較検討」の1件の申請があり、日本内視鏡外科会より「National Clinical Database を利用した胃癌に対するロボット支援下手術のラーニングカーブに与える腹腔鏡下胃切除術の経験値の影響」と「NCD データを使用した、小児内視鏡外科手術普及の課題に関する研究」と「外科医のダイバーシティが腹腔鏡・ロボット手術成績に与える影響」の3件の申請がなされ、各領域の学会にデータ利用の許諾の可否について検討を依頼する予定である。

1) 利益相反委員会

委員長 宇山 一朗

本委員会は、外科研究の利益相反に関する指針に基づき、役員等から提出された利益相反自己申告書の管理、利益相反自己申告書に対して、疑義もしくは社会的・法的問題が生じた場合の対応等を目的としている。

役員等の利益相反自己申告書対象 247 名から提出されている。

役員等の利益相反自己申告書は本学会事務所に厳重に管理している。

13. 国際委員会

委員長 湊 谷 謙 司

1. 外国人名誉会員について

新外国人名誉会員として、第1号議案で報告のあった Juan Carlos Parodi 先生を推薦した。

推薦にあたっては、本会の外国人名誉会員としてのクオリティ保持を目的として、令和4（2022）年度より追加された推薦規定「本会への貢献度」も考慮している。

2. 若手外科医の学術交流制度（旅費給付）について

American College of Surgeons（ACS）と German Society of Surgery（GSS）とは、それぞれの学術集会にお互いの学会から推薦のあった若手外科医を1名ずつ招聘し、学術発表の機会を与える交流を行っている。

【ACS】

第108回 ACS 出席（令和4年）本会から ACS へ参加

→ 田中 真之 正会員（川崎市立川崎病院外科）

第123回（令和5年）ACS から本会定期学術集会へ参加

→ Daniel I-Hsin Chu 先生

【GSS】

本会から GSS への出席予定者

→ 奥野 将之 正会員（京都大学肝胆膵・移植外科）

GSS から本会定期学術集会への出席予定者

→ Sven Arke Lang 先生

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染拡大の影響を受け、令和2（2020）年度以降中断されていた交流を令和5（2023）年度より再開予定であったが、相互の会期が重複したため、再度延期し令和6（2024）年度から交流再開することとなった。

3. 各国際学会代表講演について

本会定期学術集会で各学会の代表者の講演を行っているが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染拡大の影響により来日が困難なことから、第120回以降、代表者にはビデオにて講演いただいていたが、第123回では以下の4名に来日のうえ、現地にて講演いただくこととなった。

なお、GSSの Andreas Seekamp 会長からは、相互会期重複により来日出来ないため、ビデオレターを頂いた。

【American College of Surgeons（ACS）】 E. Christopher Ellison 先生

【Society of University Surgeons（SUS）】 Rebekah White 先生

【Royal College of Surgeon（RCS）】 Neil Mortensen 先生

【College of Surgeons of East, Central and Southern Africa（COSECSA）】 Fualal Jane Odubu 先生

【The Association of Surgeons of India（ASI）】 Sanjay Kumar Jain 先生

4. Society of University Surgeons (SUS) との交流について

Society of University Surgeons (SUS) と Association for Academic Surgery (AAS) の合同年次総会である Academic Surgical Congress (ASC) では、本会から毎年 10 演題が受け入れられており、当会会員の ASC 学術集会への参加費は本会で負担することとしている。

令和 3 (2021) 年度以降は新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響により参加を見送りとしていたが、渡航制限の緩和を受け、令和 5 (2023) 年度より交流を再開した。2023 年 2 月 7 日～9 日に開催された第 18 回 ASC には、本委員会による審査で選ばれた以下の 6 名が本会代表演者として発表した。

また、本会の代表者として委員長と亀井副委員長が参加した。

- 今井 大祐 正会員 (Virginia Commonwealth University)
- 河野 幹寛 正会員 (九州大学大学院消化器・総合外科)
- 大西 峻 正会員 (鹿児島大学小児外科学分野)
- 奈良 篤 正会員 (東京医科歯科大学肝胆膵外科)
- 赤星 径一 正会員 (東京医科歯科大学肝胆膵外科)
- 中堤 啓太 正会員 (東京医科歯科大学病院救命救急センター)

5. ドイツ外科学会との交流について

ドイツ外科学会とはお互いの学術集会において、ジョイントセッションを開催している。新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の拡大により、令和 2 (2020) 年度に予定していた本セッションを延期し、令和 4 (2022) 年度に実施予定であったが、再開の目途が立たないため、本セッションを一旦白紙とし、令和 6 (2024) 年度の再開に向けて改めて本セッションを検討することとした。

6. 英国外科学会 International Surgical Training Programme (ISTP) について

ISTP は英国の Royal College of Surgeon が運営しており、英国以外の若手外科医師が英国各地の病院の外科、外傷外科、救急を含む様々な診療科で臨床研修が出来る制度である。

これまで、以下の 2 名が IELTS の基準をクリアし、研修を行っている。

- 第 1 期生：田村 亮 正会員 (高島市民病院外科；小児外科)
→ New Castle 大学 (The Great North Children Hospital) 修了
- 第 2 期生：佐藤 力弥 正会員 (虎の門病院消化器外科)
→ Colchester General Hospital 研修中

以下の候補者 (7 名) は、IELTS の基準をクリアしているものの新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響により現在も研修先の選考手続きに遅延が生じている。

2022 年 9 月に委員長が渡英のうへ、RCS 理事に手続きの進展を強く要望した。その後、全ての候補者が RCS の ISTP 担当者 と Web 面談を行い、状況の説明と今後の手続きの確認を行い、IELTS の再取得や申請準備にあたっている。

- 平岩 伸彦 正会員 (東京大学心臓外科)
- 杉本 卓哉 正会員 (熊本赤十字病院国際医療救援部外科・小児外科)
- 西村 公男 正会員 (大和高田市立病院外科)
- 北田 智弘 正会員 (大阪市立大学小児外科)
- 遠藤 睦子 正会員 (Radboud University Medical Center Surgical Oncology)
- 関岡 明憲 正会員 (静岡県立こども病院小児外科)

※第4期生（2名）は、IELTSのクリアを目指している。

※上記候補者の進捗状況に鑑み、現在募集を停止している。

7. アフリカとインドとの交流について

将来計画委員会「国際化推進」ワーキンググループにおいて、アフリカとインドを中心とした国際交流促進が検討され、アフリカのCOSECSAとインドのASIの会長を本会定期学術集會に招待することを開始している。

また、COSECSAとASIについては、各学会から選出された若手外科医3名に本会がトラベルグラント（COSECSA：4,000ドル、ASI：2,000ドル）を支給し発表の機会を提供する予定である。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により昨年度まで延期となっていたが、第123回では以下の対象者が初めて参加される。

また、発展途上国への貢献事業として日本の施設見学のサポートも行っており、各受賞者が希望する施設を会期前後に見学予定である。

【COSECSA】

Precious Gamuchirai T. Mutambanengwe 先生（本人希望によりオンライン参加）

Orgeness Mbwambo 先生

Christophe Mpirimbanyi 先生

【ASI】

Reshma Balachandran 先生

Priyanka Saha 先生

Nidhin Punathil Narayanan 先生